

令和 8 年度

公立大学法人沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科

学生募集要項 (3 次募集)

博士前期課程

目 次

1. 保健看護学研究科の教育理念と教育目標	1
2. 保健看護学研究科のアドミッション・ポリシー	2
3. 保健看護学研究科博士前期課程の概要	3
4. 保健看護学研究科博士後期課程の概要	6
5. 大学院入学者選抜試験日程	9
6. 保健看護学研究科 博士前期課程	
1 募集人員及び分野・領域・専門科目	10
2 出願資格	10
3 出願手続	11
4 島嶼枠の目的及び対象者	13
5 入学者選抜試験	13
6 試験会場	14
7 合格発表	14
8 入学手続	14
9 入学料・授業料	15
	16
（別紙１） 個人情報の利用目的について	
（別紙２） 沖縄県立看護大学大学院長期履修規程	17
（別紙３） 既習得単位の認定に関する運営要領	18

保健看護学研究科の教育理念と教育目標

本大学院は、時代や社会の要請に対応できる専門職業人のリーダーとして高度のケアを実践できる専門看護師など実践家、看護の管理者、学習や教育の原理を統合して看護教育に応用する教育者、研究活動によって看護知識の創出に貢献する研究者等、保健看護活動を通して新しい学問の創出に貢献できる人財の養成を目指している。

博士前期課程：広い視野に立って看護における高度なケアの実践や教育のできる専門的能力を養う、または、学識を深めることによって研究能力を養う。

博士後期課程：看護分野における研究者として自立した研究活動を行うのに必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養う。

保健看護学研究科のアドミッション・ポリシー

本大学院の教育目標を達成するために、資質と能力及び関心と意欲を持った者を求めます。

【博士前期課程】

1. 高い基礎学力と専門領域に関心と意欲を持ち、問題解決のために自立して行動できる者
2. 豊かな実務経験があり、高度実践者、看護教育者として社会に貢献しようという者
3. 既存の専門分野にとらわれることなく、人々の健康ニーズに応じて看護を発展して貢献したい者
4. 異なる文化を理解し、人々とのコミュニケーションを図ろうとする者
5. 働きながら学修する者は、仕事と学業とのバランスが取れる者

【博士後期課程】

1. 博士前期課程修了あるいはそれと同等の専門知識や技術を持つとともに後期課程での研究に取り組む準備ができている者
2. 高度実践者、看護教育者、看護研究者として社会に貢献しようとする者
3. 新たな学術的研究分野を開拓し、新しい学問を構築していける高い能力と意欲を持つ者
4. 働きながらも学修することを希望し、仕事と学業とのバランスの取れる者

沖縄県立看護大学大学院 保健看護学研究科

博士前期課程の概要

修業年限 2年

ただし、長期にわたる教育課程の履修の期間は3年とする。

授業時間 8時40分から17時30分まで

ただし、大学院設置基準第14条適用学生に対する特例として、
17時40分から20時50分まで、及び休日にも授業を行う。

学 位 修了した者には、修士（看護学）を授与する。

教育研究分野・領域の概要（博士前期課程）

分野	領 域	概 要
文化間保健看護	保健看護管理・教育	<p>「特定文化」をキーワードとしてマクロレベルでの新興感染症への対策、ミクロレベルでの生活習慣と価値観の異なる人々の健康生活に向けた管理的貢献、プライマリケアを重視した行政的施策と費用対効果、病院・病棟の疾病管理と人々の健康管理など実践的看護管理活動を分析・評価し、複雑化した課題に対応できる卓越した実践家、教育研究者養成に必要な能力の向上を図る。</p> <p>看護を取り巻く社会や科学の発達に対応して変化・発展する看護観及び看護技術が、看護者個々や集団においてどのように形成され修得されるのかを学ぶ。さらに、看護基礎教育及び現任教育における教育方法の開発、看護実践における看護職者の教育能力開発の方法を探求し、看護基礎教育の担い手である人材の育成や保健看護分野における実践者の教育指導能力の向上を図る。</p> <p>■研究指導教員／宮里智子、金城忍、栗原幸子</p>
	地域・精神保健看護	<p>地域社会及びハイリスク集団を対象とした施策、計画、実施、結果、評価の学習をする。また、ミクロのレベルでは地域で健康上のリスク者への保健看護実践、ヘルスプロモーション、健康教育（疾病教育）などにおいて適切な研究的アプローチを行い、最新の知識を応用し、問題解決のためのリーダーとなる能力の向上を図る。</p> <p>精神保健相談時の受理面接、コンサルテーションなど専門的技術を身につけ、また、サービスの質向上のために先行研究結果を実践に応用し、活用する実践家、あるいは教育研究者となる能力の向上を図る。また、高度実践看護師（精神看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p> <p>■研究指導教員／瓜崎貴雄、牧内忍、知念真樹</p>
生涯発達保健看護	母性・小児保健看護	<p>卓越した専門家として病院・地域で妊・産婦や新生児及び家族に高度な専門的ケアの提供、母性の問題解決のための学際的チームの調整的役割、リプロダクティブ・ヘルス／ライツへの適切な支援の提供、ハイリスク女性・妊婦・新生児の評価と支援、実践的専門家としての指導者、あるいは教育研究能力の向上を図る。</p> <p>高度な専門看護職者として、それぞれの職場の保健看護システムの中で小児保健看護上の課題を認識し、質の高いケア提供を計画、実施、評価し、指導的役割を果たす。また、疾病の有無にかかわらず子どもの発達状態の評価と支援技術、ケア提供の医療環境／制度に関する実践可能な好ましい方策を実施することのできる実践能力の向上を図る。また、高度実践看護師（小児看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p> <p>■研究指導教員／上原和代、井上松代</p>
	成人・老年保健看護	<p>成人期のヘルスプロモーション、健康政策、疾病予防、リスク軽減及び急性期・慢性期の高度なケアの実践と改善、学際的な研究活動、また、医療システムと成人期患者ケアの質の分析と評価、中間管理職のレベルで看護の質向上を図る。また、高度実践看護師（がん看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p> <p>老年保健看護領域における直接的なケアプランの作成と提供、ケア提供チームにおける看護実践と管理、ケアの評価を統合・調整できる老年保健看護専門職者の実践、および研究能力の向上を図る。また、高度実践看護師（老年看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p> <p>■研究指導教員／神里みどり、田場由紀、謝花小百合、赤嶺伊都子、大城真理子</p>
先端保健看護	新領域保健看護	<p>上記特定の領域に分類できない、あるいは共通する新たな看護上の課題解決方法、技術、看護上の新たな課題への研究的アプローチ、例えば臓器移植看護とそのコーディネーターとしての役割、遠隔保健看護の実践、教育研究に必要とされる知識と技術などの向上を図る。</p> <p>■研究指導教員／神里みどり、謝花小百合、赤嶺伊都子</p>
	島嶼保健看護	<p>島嶼看護の高度な実践ならびに実践的教育ができる看護指導者を育成する。保健・医療福祉専門職者が少ない島嶼地区において、看護職者が果たす役割は大きい。特に保健医療福祉、教育・行政などの幅広い多職種ケア連携・協働による保健医療福祉活動を通して、島嶼住民の生活文化に根ざした看護を実現できる高度な島嶼看護専門能力を育成することを目指す。また、高度実践看護師（プライマリケア看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p> <p>■研究指導教員／神里みどり、佐久川政吉、田場由紀</p>

教育科目の構成—博士前期課程

必修 選択		科 目 名 (単位)			
必修	コア 科目	継続保健看護教育Ⅰ(2) 保健看護と研究Ⅰ(2)			
		文化 間 保 健 看 護	保 健 看 護 管 理 ・ 教 育	保健看護管理・教育特論Ⅰ(2) 保健看護管理演習(2) 保健看護管理実習(4) 保健看護教育演習(2) 保健看護教育実習(4) 保健看護管理・教育特別研究Ⅰ(8) 又は保健看護管理・教育課題研究(8)	
				地域・精神保健看護特論Ⅰ(2) 実践精神看護特論Ⅰ(2) 実践精神看護実習Ⅴ(1) 地域保健看護演習(2) 実践精神看護特論Ⅱ(2) 実践精神看護課題研究(2) 地域保健看護実習(4) 実践精神看護特論Ⅲ(2) 精神保健看護演習(2) 実践精神看護特論Ⅳ(2) 精神保健看護実習(4) 実践精神看護特論Ⅴ(2) 地域・精神保健看護特別研究Ⅰ(8) 実践精神看護特論Ⅵ(2) 又は地域・精神保健看護課題研究(8) 実践精神看護演習(2) 実践精神看護実習Ⅰ(2) 実践精神看護実習Ⅱ(2) 実践精神看護実習Ⅲ(3) 実践精神看護実習Ⅳ(2)	
				母性・小児保健看護特論Ⅰ(2) 実践小児看護特論Ⅰ(2) 実践小児看護実習Ⅰ(2) 母性保健看護演習(2) 実践小児看護特論Ⅱ(2) 実践小児看護実習Ⅱ(4) 母性保健看護実習(4) 実践小児看護特論Ⅲ(2) 実践小児看護実習Ⅲ(4) 小児保健看護演習(2) 実践小児看護特論Ⅳ(2) 実践小児看護課題研究(2) 小児保健看護実習(4) 実践小児看護特論Ⅴ(2) 母性・小児保健看護特別研究Ⅰ(8) 実践小児看護演習Ⅰ(2) 又は母性・小児保健看護課題研究(8) 実践小児看護演習Ⅱ(2)	
				成人・老年保健看護特論Ⅰ(2) 実践がん看護特論Ⅰ(2) 実践がん看護実習Ⅲ(2) 実践老年看護特論Ⅰ(2) 成人保健看護演習(2) 実践がん看護特論Ⅱ(2) 実践がん看護課題研究(2) 実践老年看護特論Ⅱ(2) 成人保健看護実習(4) 実践がん看護特論Ⅲ(2) 実践老年看護特論Ⅲ(2) 老年保健看護演習(2) 実践がん看護特論Ⅳ(2) 実践老年看護特論Ⅳ(2) 老年保健看護実習(4) 実践がん看護特論Ⅴ(2) 実践老年看護特論Ⅴ(2) 成人・老年保健看護特別研究Ⅰ(8) 実践がん看護演習Ⅰ(2) 実践老年看護演習Ⅰ(2) 又は成人・老年保健看護課題研究(8) 実践がん看護演習Ⅱ(2) 実践老年看護演習Ⅱ(2) 実践がん看護実習Ⅰa(2) 実践老年看護実習Ⅰ(2) 実践がん看護実習Ⅰb(2) 実践老年看護実習Ⅱ(4) 実践がん看護実習Ⅱa(2) 実践老年看護実習Ⅲ(2) 実践がん看護実習Ⅱb(2) 実践老年看護課題研究(2)	
				新領域保健看護特論Ⅰ(2) 新領域保健看護演習(2) 新領域保健看護実習(4) 新領域保健看護特別研究Ⅰ(8) 又は新領域保健看護課題研究(8)	
				島嶼保健看護特論Ⅰ(2) 実践島嶼保健看護特論Ⅰ(2) 実践島嶼保健看護演習Ⅰ(2) 島嶼保健看護演習(2) 実践島嶼保健看護特論Ⅱ(2) 実践島嶼保健看護演習Ⅱ(2) 島嶼保健看護実習(4) 実践島嶼保健看護特論Ⅲ(2) 実践島嶼保健看護実習Ⅰ(2) 島嶼保健看護特別研究Ⅰ(8) 実践島嶼保健看護特論Ⅳ(3) 実践島嶼保健看護実習Ⅱ(6) 又は島嶼保健看護課題研究(8) 実践島嶼保健看護特論Ⅴ(2) 実践島嶼保健看護実習Ⅲ(2) 実践島嶼保健看護特論Ⅵ(2) 実践島嶼保健看護課題研究(2) 実践島嶼保健看護特論Ⅶ(2)	
		分 野 必 修	生 涯 発 達 保 健 看 護	成人・老年保健看護特論Ⅰ(2) 実践がん看護特論Ⅰ(2) 実践がん看護実習Ⅲ(2) 実践老年看護特論Ⅰ(2) 成人保健看護演習(2) 実践がん看護特論Ⅱ(2) 実践がん看護課題研究(2) 実践老年看護特論Ⅱ(2) 成人保健看護実習(4) 実践がん看護特論Ⅲ(2) 実践老年看護特論Ⅲ(2) 老年保健看護演習(2) 実践がん看護特論Ⅳ(2) 実践老年看護特論Ⅳ(2) 老年保健看護実習(4) 実践がん看護特論Ⅴ(2) 実践老年看護特論Ⅴ(2) 成人・老年保健看護特別研究Ⅰ(8) 実践がん看護演習Ⅰ(2) 実践老年看護演習Ⅰ(2) 又は成人・老年保健看護課題研究(8) 実践がん看護演習Ⅱ(2) 実践老年看護演習Ⅱ(2) 実践がん看護実習Ⅰa(2) 実践老年看護実習Ⅰ(2) 実践がん看護実習Ⅰb(2) 実践老年看護実習Ⅱ(4) 実践がん看護実習Ⅱa(2) 実践老年看護実習Ⅲ(2) 実践がん看護実習Ⅱb(2) 実践老年看護課題研究(2)	
				新領域保健看護特論Ⅰ(2) 新領域保健看護演習(2) 新領域保健看護実習(4) 新領域保健看護特別研究Ⅰ(8) 又は新領域保健看護課題研究(8)	
				島嶼保健看護特論Ⅰ(2) 実践島嶼保健看護特論Ⅰ(2) 実践島嶼保健看護演習Ⅰ(2) 島嶼保健看護演習(2) 実践島嶼保健看護特論Ⅱ(2) 実践島嶼保健看護演習Ⅱ(2) 島嶼保健看護実習(4) 実践島嶼保健看護特論Ⅲ(2) 実践島嶼保健看護実習Ⅰ(2) 島嶼保健看護特別研究Ⅰ(8) 実践島嶼保健看護特論Ⅳ(3) 実践島嶼保健看護実習Ⅱ(6) 又は島嶼保健看護課題研究(8) 実践島嶼保健看護特論Ⅴ(2) 実践島嶼保健看護実習Ⅲ(2) 実践島嶼保健看護特論Ⅵ(2) 実践島嶼保健看護課題研究(2) 実践島嶼保健看護特論Ⅶ(2)	
				生涯人間発達学(2) 地域文化看護論(2) 看護管理・政策(2) 質的研究方法論(2) 生体機能とリスク(2) 保健看護政策(2) 実践臨床薬理学(2) 教育方法論(2) 疫学と保健統計Ⅰ(2) 看護倫理(2) 実践ヘルスアセスメント(2) ヘルスプロモーション・健康教育Ⅰ(2) 看護コンサルテーション論(2) 実践臨床病態生理学(2) 保健看護情報(2) 看護管理(2) 医療の質保証と安全管理(2)	

沖縄県立看護大学大学院 保健看護学研究科

博士後期課程の概要

修業年限 3年

ただし、長期にわたる教育課程の履修の期間は4年とする。

授業時間 8時40分から17時30分まで

ただし、大学院設置基準第14条適用学生に対する特例として、
17時40分から20時50分まで、及び休日にも授業を行う。

学 位 修了した者には、博士（看護学）を授与する。

教育研究分野・領域の概要（博士後期課程）

分野	領 域	概 要
文化間保健看護	保健看護管理・教育	<p>文化間保健看護の立場から、特定「文化」の枠組に基づき国境を越えて個人、地域、国レベルで健康上の問題解決、新しい保健看護管理の探求、また、通文化的、あるいは特異的ヘルスケア評価、公的サービスと調整、看護ケアのコスト及びコスト効果分析（ケアの結果と質の測定）など高いレベルの分析・評価と対応策を探求する。</p> <p>保健看護実践及び教育が多様な文化の影響を受けながら発展すると共に、文化へも影響を与えることを前提にした広い視野を持つ、高いレベルの保健看護教育の実践者および看護学の発展に寄与する人材育成に関する理論を探求する。</p> <p>■研究指導教員／宮里智子</p>
	地域・精神保健看護	<p>上級管理者など、より高度な立場から実践活動に従事、複雑な研究テーマへの取り組み、博士前期課程の教育を行う教育者、あるいは自立した研究者として新たな学問的発展を図る。</p> <p>文化的枠組みで人々のメンタルヘルスとリスク者や集団のために法律・政策、条例の制定などにより高度な学術的観点から提言、同時にこの分野の教育者、あるいは自立した研究者として新たな学問的発展を図る。</p> <p>■研究指導教員／瓜崎貴雄</p>
生涯発達保健看護	母性・小児保健看護	<p>母性保健看護及び助産に関して、生涯発達の視野に立ち課題をみつけ、実践・分析、評価、統合し、知見創出により実践的及び教育的、学術的に母性の健康と看護学の発展を図る。</p> <p>子どもと家族の健康上の課題の解決に既存の研究成果を応用、新たな研究課題の発見、計画・実施・評価し、新しい実践的、学術的、教育的貢献を図る。</p> <p>■研究指導教員／上原和代</p>
	成人・老年保健看護	<p>特に遠隔教育などの積極的活用によって他職種と連携し、上級管理職のレベルで医療・保健機関の管理、教育的機関での教育研究活動、また、複雑なケース・マネジメントの実践、高度な学術的、教育的貢献を図る。</p> <p>高齢者のケアの質とQOL向上に向けて年代、時代にあふさわしい新たな研究と知の創造をめざし看護職の立場から方法、技法の開発、実践現場への支援、自立した教育研究による学術的な貢献を図る。</p> <p>■研究指導教員／神里みどり、田場由紀、謝花小百合</p>
先端保健看護	新領域保健看護	<p>保健看護上に新たに生じた課題を解決するために学際的、国際的に必要な情報を収集・分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い看護実践における質の向上を図る。また、各領域に共通する新たな課題をみつけ解決する先端的研究方法の開発及び教育的貢献によって人々の健康上の新たなニーズへの対応策を探求する。</p> <p>■研究指導教員／神里みどり、謝花小百合</p>
	島嶼保健看護	<p>島嶼看護上に新たに生じた課題を解決するために学際的、国際的に必要な情報を収集・分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い島嶼看護実践における質の向上を図る。また、アジア・太平洋地域に位置している台湾やハワイなどの島々における地域文化保健看護に関する課題をみつけ解決する方法および教育的貢献によって人々の健康上のニーズに対する新たな対応策について探求する。</p> <p>■研究指導教員／神里みどり、佐久川政吉、田場由紀</p>

教育科目の構成－博士後期課程

必修 選択	科 目 名 (単位)		
必修	コア 科目		継続保健看護教育Ⅱ(2) 保健看護と研究Ⅱ(研究デザイン編)(2) 保健看護と研究Ⅱ(執筆編)(2)
分野必修	文化間 保健看護	保健看護管理・教育	保健看護管理・教育特論Ⅱ(2) 保健看護管理・教育特別研究Ⅱ(8)
		地域・精神保健看護	地域・精神保健看護特論Ⅱ(2) 地域・精神保健看護特別研究Ⅱ(8)
	生涯発達 保健看護	母性・小児保健看護	母性・小児保健看護特論Ⅱ(2) 母性・小児保健看護特別研究Ⅱ(8)
		成人・老年保健看護	成人・老年保健看護特論Ⅱ(2) 成人・老年保健看護特別研究Ⅱ(8)
	先端 保健看護	新領域保健看護	新領域保健看護特論Ⅱ(2) 新領域保健看護特別研究Ⅱ(8)
		島嶼保健看護	島嶼保健看護特論Ⅱ(2) 島嶼保健看護特別研究Ⅱ(8)
選択科目		疫学と保健統計Ⅱ(2) ヘルスプロモーション・健康教育Ⅱ(2)	

令和8年度大学院入学者選抜試験日程（3次募集）

	博士前期課程 (※三次募集)
出願前相談期間	令和8年2月12日(木)～2月18日(水)
出願資格審査 申請受付期間	令和8年2月12日(木)～2月18日(水)
出願資格審査 結果通知	令和8年2月19日(木)【郵送】
出願期間	令和8年2月24日(火)～2月27日(金)
試験日	令和8年3月7日(土)
合格発表	令和8年3月19日(木) 14時
入学手続期間	令和8年3月23日(月)～3月27日(金)

保健看護学研究科 博士前期課程

1 募集人員及び分野・領域・専門科目

分 野	領 域	専 門 科 目	募集人員
		高度実践看護師 教育課程	
先 端 保 健 看 護	島嶼保健看護	実践島嶼保健看護	若干名

2 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当、かつ、看護師、保健師、助産師のいずれかの免許を有する者（令和 8 年 3 月までに同免許取得見込みの者を含む）

（※看護師等の免許取得見込みの合格者が、看護師等国家試験に不合格となった場合、入学は認められません。）

- (1) 看護系大学（短期大学を除く）を卒業した者又は令和 8 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 看護系以外の大学（短期大学を除く）を卒業した者又は令和 8 年 3 月までに卒業見込みの者
- (3) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者又は令和 8 年 3 月までに授与される見込みの者
- (4) 本研究科の個別の出願資格審査において、看護系の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、大学院入学時点で 22 歳以上の者（※）
- (5) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月修了見込みの者
- (7) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 8 年 3 月修了見込みの者
- (8) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、(7)の文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 8 年 3 月までに授与される見込みの者
- (9) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める

基準を満たすものに限る) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める
日以後に修了した者

(10) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)

(11) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究
科において、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

※(4)により出願しようとする場合は、出願資格審査申請書(1)、(2)、最終学校の卒業証明書及び
成績証明書(厳封)を添えて提出し、事前に出願資格認定の審査を受けなければならない。

※出願資格審査を受ける者は審査申請期間までに出願前相談を受ける必要があります。

※「出願資格申請書」と「最終学校の卒業証明書等」の氏名が不一致の場合は、改氏名を証明
するもの(戸籍抄本等)を添付すること。

なお、昨年度に申請し、「受験可」となった方は、今年度新たに申請する必要はありません。

提出期限: 出願資格審査申請受付期間(9ページ参照)の最終日午後5時まで【**必着**】

提出先: 公立大学法人沖縄県立看護大学 事務局 学務課 入試担当

3 出 願 手 続

(1) 出願方法

ア 出願者は、出願前相談期間中(9ページ参照)に必ず「教育研究分野・領域の概要
(博士前期課程)」(4ページ)参照のうえ、志望する専攻分野の研究指導教員に
受験について相談して下さい。

その際は下記フォームより申込みを行ってください。

<出願前相談申込フォーム>

<https://forms.office.com/r/KsNNszLPGb>



イ 出願者は、出願書類等を一括して角形2号封筒に入れ、本学指定の出願封筒用ラベル
(A4)を貼り付けて、「簡易書留速達郵便」(出願期間最終日の消印有効)により
提出してください。ただし、郵送によりがたい場合は、「直接持参」も可とします。

ウ 直接窓口を持参する場合は、出願期間中の土日・祝祭日を除く平日の午前9時から
午後5時まで(正午から午後1時までを除く)受け付けます。

(2) 出願先

〒902-8513

沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号

公立大学法人沖縄県立看護大学事務局学務課入試担当 tel. 098-833-8800

(3) 出願期限

出願期間最終日(9ページ参照)の午後5時【**必着**】

(4) 出願書類

①	A票	入学志願票・受験票(本学所定用紙)
②	C票	志願理由書(所定様式) ※本学HPから様式(Excel)ダウンロード可
③	E票	履歴書(本学所定用紙)
④		学士課程等卒業(見込)証明書または学位授与機構の学位授与証明書 ※1 ※卒業証書(原本・写し)の代用は不可。

⑤	学士課程等成績証明書（最終出身大学長等が作成、厳封したもの）※1
⑥	看護師等の免許証の写し（取得見込みの方は提出不要）※A4サイズにコピー。
⑦	G票 受験票送付用封筒（※長3封筒に宛名・宛先を記載したG票返信用ラベルと410円切手を貼り付ける。）
⑧	<p>入学考査料（30,000円）の振込証明書等の写し（A4用紙にコピー）</p> <p>振込先：^{りゅうきゅうぎんこう}琉球銀行 ^{よせみやしてん}寄宮支店（普）1010776</p> <p>公立大学法人沖縄県立看護大学 理事長 神里 みどり</p> <p>※振込手数料は志願者負担となります。</p> <p>※銀行窓口又はATMでお振込みください。</p>
⑨	戸籍抄本等（出願資格の証明書と「A票 入学志願票・受験票」の氏名が不一致の場合のみ。個別の出願資格審査で提出済みの場合は再度の提出は不要。）
⑩	実践活動報告書（所定様式）※2 ※本学HPから様式（Excel）ダウンロード可
⑪	勤務証明書（所定様式）※3 ※本学HPから様式（Excel）ダウンロード可
⑫	住民票 ※3

※1 出願資格(4)の者は、④、⑤は不要。

※2 ⑪は高度実践看護師教育課程、または、島嶼枠で出願する場合のみ提出。

※3 ⑫・⑬は島嶼枠で出願する場合のみ提出。

(5) 注意事項

- ① 上記(1)アの相談を行っていない場合、原則受験できませんので、ご注意ください。
- ② 出願書類が全て揃っていない場合には受付できませんので、出願の際には十分確認して下さい。
- ③ 出願期限後に提出及び到着した出願書類は受理できませんので、郵送の際は到着日時に注意して下さい。
- ④ 出願受付後には、出願事項の変更は認められません。ただし、出願後、住所、氏名及び電話番号に変更があった場合には、出願先まで連絡して下さい。
- ⑤ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載内容が著しく事実と相違することが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 試験期日の5日前までに受験票が届かない場合は、出願先まで問い合わせして下さい。
- ⑦ 出願受理後の出願書類及び入学考査料は、理由の如何を問わず返却致しません。

(6) 障害を有する等、受験上特別な措置を必要とする入学志願者との事前協議

本学に入学を志願する者で、障害を有する等、受験上又は修学上特別な配慮を必要とする者は、出願前にあらかじめ出願先まで連絡し、相談して下さい。

なお、出願後に発生した傷病により、特別な配慮を必要とすることになった場合も速やかに連絡して下さい。

4 島嶼枠の目的及び対象者

(1) 目的

沖縄県の離島地域における保健看護の人材育成に資する。

(2) 対象者

次の①及び②を満たす者。

- ① 出願時点で沖縄県の島嶼地域の在住者、かつ、看護実務者であり、在籍する医療施設等において、1年以上の実務経験がある者。

※対象となる島嶼地域に属する市町村は、伊江村、伊平屋村、伊是名村、久米島町、南大東村、北大東村、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、宮古島市、多良間村、石垣市、竹富町、与那国町です。また、本部町（水納島）、うるま市（津堅島）

- 及び
南城市（久高島）も対象となります。
- ②出願資格に定められた要件を満たしていること。

5 入学者選抜試験

(1) 選抜方法

入学者の選抜は学力試験、面接及び出願書類を総合的に判定して行う。

(2) 試験科目の時間割及び配点

試験科目	時 間	配 点
共 通 科 目	9：00～10：00（60分）	100
専 門 科 目※1	10：15～11：15（60分）	100
面 接	11：30～12：30（60分）	100

※1 専門科目試験は、自分の志願する専門科目を受験。

(3) 受験上の注意事項

- ① 試験当日は、「受験票」「黒鉛筆（シャープペンシル可）」「消しゴム」を必ず持参して下さい。
- ② 試験当日は 8:00 から 8:30 までに受け付けを終了し 8:30 までに試験会場に集合して下さい。
- ③ 「面接」以外の試験については、試験開始後 30 分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は認めません。また、当日遅刻等により受験できなかった科目がある場合、それ以降の試験の受験は認められません。
- ④ 試験科目のうちいずれか一方でも受験しない者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑤ 「面接」試験の集合時間は試験当日に指示します。
- ⑥ 「面接」試験受験者は指定された場所に集合し、待機して下さい。
- ⑦ 「面接」試験開始時に不在であった場合には、欠席したものと取り扱います。
- ⑧ 「面接」以外の試験時、「受験票」「黒鉛筆（シャープペンシル可）」「消しゴム」「鉛筆削り」「時計（時計機能だけのもの）」「眼鏡」「ハンカチ」「目薬」「ティッシュペーパー」「英語辞書（※電子辞書不可。英語試験時のみに限る。）」以外のものは、机の上に置かないで下さい。
- ⑨ 当日、受験票を忘れた者は、速やかに受付で仮受験票の交付を受けて下さい。
又、受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管して下さい。
- ⑩ 携帯電話及びスマートフォン等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し電源を切して下さい。
- ⑪ 試験時間内における受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- ⑫ 試験会場では、監督員等の指示に従って下さい。
- ⑬ 試験会場には、駐車場がありませんので、バス等の公共交通機関を利用して下さい。
- ⑭ 指定感染症を含む学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ等）に罹患し治癒していない場合、受験をご遠慮ください。
上記により、受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置および入学考査料の返還は行いません。

- ⑮試験当日の朝6時時点において、本島地方に暴風警報が発令されていることが予想される場合や実際に暴風警報が発令されている場合、試験は予備日に延期となります。その際、前日までに試験実施の対応について受験者へ連絡いたします。

6 試験会場

公立大学法人沖縄県立看護大学

〒902-8513 沖縄県那覇市与儀1丁目24番地1号

T E L 098-833-8800



注) 「与儀十字路バス停」は、与儀公園前と那覇警察署前の2か所ありますので、ご利用になるバス路線のバス停位置等をあらかじめご確認ください。

7 合格発表

- (1) 合格発表日 (9 ページ参照) の午後2時より本学ホームページ (<https://www.okinawa-nurs.ac.jp/>) にて掲示します。大学構内での掲示は行いません。
- (2) 合格者のみ本人あて書面で通知します。
- (3) 合否について、電話等による問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

- (1) 手続期限

入学手続期間 (9 ページ参照) の最終日午後5時まで【必着】

(2) 入学手続方法

- ① 合格者は、上記の入学手続期間内に合格通知書とともに送付する入学手続に必要な書類を提出して下さい。
- ② 大学院設置基準第 14 条の適用を受け入学する有職者は、所属長の承諾書を提出する必要があります。
- ③ 長期にわたる教育課程の履修（長期履修）を希望する者は、別途、長期履修申請の手続きを行ってください。（別紙 2（22 ページ）参照）

(3) 入学手続上の注意事項

- ① 上記(1)の期限内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。特に郵送の場合、期限を過ぎて到着したものは受付できませんので、所要日数を十分考慮して発送して下さい。
- ② 入学料及び必要な書類が全て揃っていない場合には受け付けできませんので、書類提出の際には、十分確認して下さい。
- ③ 一度納付した入学料及び入学手続書類は原則として返却しません。

9 入学料・授業料

- (1) 入学料 県内居住者 282,000 円 その他の者 512,000 円

※入学者が本学の博士前期課程在学中の場合、入学料の納付は不要。

- (2) 授業料 年額 535,800 円

※県内居住者とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。

ア 本人が令和 7 年 4 月 1 日以前から引き続き県内に住所を有する者

イ 本人の配偶者又は 1 親等の親族が令和 7 年 4 月 1 日以前から引き続き県内に住所を有する者

- (3) 入学料については入学手続期間内に納入しなければならない。なお、授業料については入学後、前期(4 月)、後期(10 月)に分けて徴収する。

※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用される。

(別紙 1)

個人情報の利用目的について

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜業務（入試統計データ処理等の付随する業務を含む）に利用するとともに、入学手続きに係る個人情報については以下の目的のために利用します。

- 1 学籍管理及び学籍の異動管理
- 2 学籍・異動、履修成績、証明書、調査、学生証等の帳票作成及び集計、本人への送付・連絡
- 3 就職関係情報の管理
- 4 学費情報の管理、帳票の作成及び送付・連絡
- 5 図書館利用資格の確認及び送付・連絡
- 6 学内情報ネットワーク利用資格の確認及び利用者サービス実施
- 7 奨学金業務に関連する資料作成、また本人への連絡
- 8 学生の健康管理に関する資料の作成・保管
- 9 本学・後援会・同窓会からの広報誌（紙）の送付
- 10 納付金、募金依頼関係書類の送付
- 11 卒業生・修了生データの作成・管理
- 12 後援会、同窓会等（学生生活の支援及び会員相互の親睦と福祉を図るとともに、本学の発展に寄与することを目的として設立されたもの）、本学と密接な関係を持つ団体への連絡先情報の提供
- 13 その他、本学・後援会・同窓会からの連絡

公立大学法人沖縄県立看護大学 大学院長期履修規程

制 定 日：令和 4 年 4 月 1 日

改 正 日：令和 7 年 2 月 13 日

(趣旨)

第 1 条 この規程は、公立大学法人沖縄県立看護大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第31条の規定に基づき、沖縄県立看護大学大学院における長期にわたる教育課程の履修（以下「長期履修」という。）に関し、必要な事項を定める。

(対象者)

第 2 条 長期履修を希望することができる者は、本学大学院博士前期課程又は博士後期課程の第 1 年次に入学する者で、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 職業を有している者又は入学時点で職業を有していることを予定している者で勤務時間等の時間の拘束によって標準年限での修業が困難な者。
ただし、入学時点で職業を有していないことが判明した場合、長期履修を取り消すことがある。

(2) 育児、親族の介護等の特別の事情のある者

(3) その他やむを得ない事情を有し、修業年限で修了することが困難な者

(申請手続)

第 3 条 長期履修を希望する者は、次に掲げる書類を添えて、入学手続期間内に学長に願い出るものとする。

(1) 長期履修申請書（様式 1）

(2) 在職証明書（職業を有している人）

(承認)

第 4 条 長期履修の承認は、研究科委員会の議を経て学長が行なう。

2 学長は、前項の規定により長期履修を承認したときは、長期履修承認書（様式 4）により長期履修を承認された者（以下「長期履修学生」という。）に通知するものとする。

(長期履修期間)

第 5 条 長期履修の期間は、博士前期課程は 3 年、博士後期課程は 4 年とする。

(履修期間短縮)

第 6 条 長期履修学生が長期履修期間の短縮を希望する場合は、短縮された場合に修了を予定する年度の前年度の 2 月 1 日から 2 月末日までの間に、学長に長期履修期間短縮申請書（様式 3）を提出する。

- 2 長期履修期間の短縮期間は、年を単位とする。
- 3 長期履修期間の短縮の承認は、研究科委員会の議を経て、申請のあった年度内に学長が行なう。
- 4 学長は、前項の規定により長期履修期間の短縮を承認したときは、長期履修期間短縮承認書（様式4）により長期履修期間の短縮を承認された者に通知するものとする。

（履修）

第7条 長期履修学生は、履修計画及び研究計画に従い、計画的な履修を行わなければならない。

（授業料）

第8条 長期履修学生の授業料の年額は、別に定めるところによる。

（その他）

第9条 この規程に定めるもののほか、長期履修学生に関し必要な事項は、研究科委員会の議を経て、学長が別に定める。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

この改正は、令和7年2月13日から施行する。

(別紙 3)

既修得単位の認定に関する運営要領

(趣旨)

第1条 公立大学法人沖縄県立看護大学大学院学則第 35 条の規程に基づき、学生が本大学院入学前に修得した単位の認定（以下「認定」という）に関し必要な事項を定めるものとする。

(申請)

第2条 学生が認定を申請する場合には、入学時に、次の書類（以下「認定書類」という）を学務課に提出しなければならない。

- (1) 既修得単位認定申請書・大学院（様式第 1 号）
 - (2) 認定希望科目申請書・大学院（様式第 2 号）
 - (3) 成績証明書
 - (4) 当該大学院等の講義内容が判断できる書類（院生便覧及びシラバス等）
- 2 学生から認定書類の提出があった場合、学務課は速やかに研究科長に当該書類を提出する。

(一次認定)

第3条 学務課から認定書類の提出があった場合、研究科長はただちに既修得単位認定のための臨時研究科教務委員会（以下「委員会」という）を開催する。

- 2 委員会は、院生便覧、シラバス及び成績証明書に基づき、大学院既修得単位認定書（様式第 3 号）により認定の可否を決定する。
- 3 委員会は、院生便覧及びシラバス等を提出できなかった認定希望科目については、認定しない。
- 4 研究科長は、認定の可否に基づき、必要があれば既修得単位認定申請者と面接を行うことができる。
- 5 研究科長は、認定希望科目が専任教員によって教授されている場合、必要に応じて、認定の可否の検討を専任教員に依頼することができる。
- 6 研究科長は、委員会を再度開催し、委員会において面接結果等に基づき、認定の可否を決定する。

(最終認定)

第4条 委員会は一次認定の結果を研究科委員会に提案し、研究科委員会は認定の可否を決定する。

(通知)

第5条 学務課は、履修登録確認期間に、認定結果を、大学院単位認定通知書（様式第 4 号）により当該院生に通知する。

- 2 院生は単位認定通知書を受け取るまでは、認定希望科目について履修登録を行い、授業に出席しなければならない。

附 則

この要領は、平成 21 年 9 月 16 日から施行する。

大学院 出願書類チェック表

博士 前期	博士 後期	書類名
		A票 入学志願票・受験票(本学所定用紙)
		B票 入学志願票・受験票(本学所定用紙)
		学士課程等成績証明書(最終学校長が作成、厳封したもの) ※出願資格審査を通った者は不要
		学士課程等卒業(見込)証明書または学位授与機構の学位授与証明書 ※出願資格審査を通った者は不要 ※卒業証書(原本・写し)の代用不可
		看護師等免許証の写し(免許保有者のみ) ※A4サイズにコピー
		修士課程等成績証明書(最終学校長が作成、厳封したもの) ※出願資格審査を通った者は不要
		修士課程等修了(見込)証明書 ※出願資格審査を通った者は不要 ※修了証書(原本・写し)の代用不可
		C票 志願理由書(本学所定様式)
		D票 博士後期課程で行いたい研究の抱負(本学所定様式)
		E票 履歴書(本学所定様式)
		F票 研究業績調書(本学所定様式)
		修士論文要旨(任意の書式)但し修士論文要旨が無い場合は、これに代わる論文
		G票 受験票送付用封筒(宛名・宛先を明記し410円切手貼付)
		入学考査料 30,000円(※振込証明書等の写し) ※A4用紙にコピー
		戸籍抄本等(※出願資格の証明書と入学志願票・受験票の氏名が不一致の場合のみ)
		実践活動報告書(※高度実践看護師教育課程、島嶼枠を志願する場合のみ)
		勤務証明書(※島嶼枠を志願する場合のみ)
		住民票(※島嶼枠を志願する場合のみ)

A票

令和8年度 沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科保健看護学専攻 博士前期課程入学志願票

フリガナ				男・女	受験番号	※
氏 名						
生年月日	昭和・平成 年 月 日 生					
志 願 専 門 科 目 (一つ選び、 内に○を記入 してください)	分 野	領 域	専 門 科 目			
	文化間保健看護	保健看護管理・教育	()保健看護管理 ()保健看護教育			
		地域・精神保健看護	()地域保健看護 ()精神保健看護 ()実践精神看護			
	生涯発達保健看護	母性・小児保健看護	()母性保健看護 ()小児保健看護 ()実践小児看護			
		成人・老年保健看護	()成人保健看護 ()老年保健看護 ()実践がん看護 ()実践老年看護			
	先端保健看護	新領域保健看護	()新領域保健看護			
島嶼保健看護		()島嶼保健看護 ()実践島嶼保健看護				
出願資格 (該当する資格欄 の番号を○で囲 んでください)	1	大学 学部 学科 昭和・平成・令和 年 月 卒業・卒業見込				
	2	学位授与機構 学士 () 平成・令和 年 月 取得				
	3	本学出願資格審査による認定 平成・令和 年 月				
島嶼枠による 出願	有 ・ 無 (いずれかを○で囲んでください)					
免許取得年月 (免許番号)	看護師 年 月 ()	保健師 年 月 ()	助産師 年 月 ()			
本 人	本籍地 (都道府県名・外国人出願者は国籍を記入)					
	フリガナ					
	現 住 所	〒 〔電話 () - ()〕				
緊 急 連 絡 先	連絡相手氏名	続柄 ()				
	住 所	〒 〔電話 () - ()〕				
					※	

写真貼付 (縦4cm×横3cm)
受験票に貼り付けた写真と同じもの

※
入学査料
領 収 印

※

(切り離さないこと)

令和8年度 沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科博士前期課程受験票

フリガナ			男・女	受験番号	※	写真貼付 (縦4cm×横3cm) 志願票に貼り付けた写真と同じもの	※ 入学査料 領 収 印
氏 名							
専 攻	保健看護学専攻	志望領域 (専門科目) ()					

注1) ※欄は記入しないでください。

注2) 志願する専門科目まで記入してください。

1. 試験科目及び時間

科 目 名	時 間
共通科目	9:00～10:00
専門科目	10:15～11:15
英語※	11:30～12:30
面 接	13:30～

※高度実践看護師教育課程及び島嶼枠志願者の方は英語試験はありません。

2. 注意事項

- ① 試験当日は、「受験票」「黒鉛筆（シャープペンシル可）」「消しゴム」を必ず持参して下さい。
- ② 試験当日は8:00から8:30までに受け付けを終了し8:30までに試験会場に集合して下さい。
- ③ 「面接」以外の試験については、試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は認めません。
- ④ 試験科目のうちいずれか一方でも受験しない者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑤ 「面接」試験の集合時間は試験当日に指示します。
- ⑥ 「面接」試験受験者は指定された場所に集合し、待機して下さい。
- ⑦ 「面接」試験開始時に不在であった場合には、欠席したものと取り扱います。
- ⑧ 面接以外の試験時、机の上には、「受験票」「HBの黒鉛筆（シャープペンシル可）」「消しゴム」「鉛筆削り」「時計（時計機能だけのもの）」「眼鏡」「ハンカチ」「目薬」「ティッシュペーパー」「英語辞書（電子辞書不可。英語試験時のみに限る）」以外のものは置かないで下さい。
- ⑨ 当日、受験票を忘れた者は、速やかに受付で仮受験票の交付を受けて下さい。
又、受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管して下さい。
- ⑩ 携帯電話及びスマートフォン等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し電源を切って下さい。
- ⑪ 試験時間内における受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- ⑫ 試験会場では、監督員等の指示に従って下さい。
- ⑬ 試験会場には、駐車場がありませんので、バス等の公共交通機関を利用して下さい。

C票

志 願 理 由 書

フリガナ	
氏 名	

※ 院

*島嶼枠での志願者は、島嶼枠で志願する理由も含めて記載してください。

--

(注) 800字程度で記入すること (パソコン入力可)

※印欄は記入しないでください。

E票

フリガナ	
氏 名	

※ 院

履 歴 書		
学 歴 (高等学校以上)	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
実務経験 〔 職歴、研究生等 の研究歴を含む 〕	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

注1) 手書きの場合は、黒のボールペンで丁寧に記入すること。
注2) ※印欄は記入しないでください。
注3) パソコン入力可。

速達

- ここに
410円切手を
貼付。
- この封筒に郵便番号、住所
及び氏名を記入。

			—				
--	--	--	---	--	--	--	--

G票

公立大学法人
博士前期・後期課程試験受験票
沖縄県立看護大学 大学院
大学院

〒902-8513 那覇市与儀 1 丁目24番 1 号

公立大学法人
沖縄県立看護大学 学務課

電話 098-833-8800

※G票に志願者自身の宛名・宛先を記載し、410円切手を貼り付ける。

※G票を点線にそって切り取り、長3封筒に貼り付けて出願書類と合わせて提出する。

実践活動報告書

氏名：

文書作成ソフトで記載してください。フォントは10.5ポイント、枚数は2枚以内で各項目の記載スペースは自由に設定していただいてもかまいません。

*は記載する必要はありません。

*受験番号

実務、あるいは実習においてあなたが行った看護実践の中から、印象に残った事例をひとつ取り上げ、以下について記述してください。

1. 事例の概要

*

2. 看護実践の具体的な内容

*

(あなたの判断と行動が分かるように書いてください)

3. 看護実践をとおして考えたこと、および、今後の課題

*

沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科保健看護学専攻 博士前期課程出願書類

勤 務 証 明 書
【 島嶼梓 】

受験 番号	※
----------	---

公立大学法人 沖縄県立看護大学長 殿 令和 年 月 日

施設所在地

施設名

施設長名

印

次の者は当施設において、看護師として業務に従事していたことを証明します。

フリガナ 氏 名	生年月日	昭和 年 月 日 平成		
		勤 務 期 間		
		昭和 平成 年 月 日 ～	昭和 平成 年 月 日	
		昭和 平成 年 月 日 ～	昭和 平成 年 月 日	
		昭和 平成 年 月 日 ～	昭和 平成 年 月 日	
		昭和 平成 年 月 日 ～	昭和 平成 年 月 日	
		昭和 平成 年 月 日 ～	昭和 平成 年 月 日	
		昭和 平成 年 月 日 ～	昭和 平成 年 月 日	
		昭和 平成 年 月 日 ～	昭和 平成 年 月 日	

(記入上の注意) 1 パソコン入力可。

2 ※印欄は記入しないでください。

簡易書留速達
相当額の切手
を貼付して郵
便局の窓口へ
提出してくだ
さい。

9 0 2 — 8 5 1 3

沖縄県那覇市与儀一丁目二四番一号

公立大学法人

沖縄県立看護大学 学務課 行

簡易書留速達

公立大学法人 沖縄県立看護大学 大学院
入学者選抜試験志願票 在中

出願者	住所	(〒 —) (電話 — —)
	氏名	

令和8年度 沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科の出願資格審査申請書(1)

(フリガナ)				男	※整理番号			
氏 名				女	※認定の可否			※認定番号
生 年 月 日		昭和・平成		年	月	日	本籍(国籍)	
履 歴 事 項 (高 等 学 校 以 上)	学 歴	年		月	～	年	月	高等学校
		年		月	～	年	月	
		年		月	～	年	月	
		年		月	～	年	月	
		年		月	～	年	月	
	実務経験(職歴、研究生等の研究歴を含む)	期 間		勤 務 先 ・ 所 属			具体的な職名とその勤務内容	
		年 月						
		年 月						
		年 月						
		年 月						
		年 月						
		年 月						
	免許・資格等	(免許番号)						
		(免許番号)						
		(免許番号)						
(免許番号)								
(免許番号)								
(免許番号)								
連絡先		〒						
住 所								
電 話		電話 ()						

(注) 1. 性別は該当する事項を○で囲むこと。
2. ※欄は記入しないこと。
3. 履歴事項欄が不足する場合、別紙として添付すること。
4. 入学者選抜試験の結果、合格者となった場合は、本申請書の実務経験欄に記載した経歴について、所属長の証明書を求めることもあるので、記載に当たっては正確を期すこと。
記載内容が証明書と相違する場合は、合格を取り消すことがある。
5. 出願資格審査申請書(2)、最終学校の卒業証明書及び成績証明書を添えて提出して下さい。
6. パソコン入力可。

令和8年度 沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科博士前期課程の出願資格審査申請書(2)

(フリガナ) 氏 名		男・女	※整 理 番 号	
			生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日

I 志願理由

II これまでの実践活動の中で、力を入れてきたことは何ですか、具体的に記述して下さい。
(管理的役割(リーダー、主任、師長など)や継続教育の実績などもあれば記述して下さい。)

III 学会・研究会等で発表(共同研究含む)した場合、発表年、学会名、演題名を記述して下さい。
(そのうちの一編について、論文等の別刷を添付して下さい。)

(注1) ※欄は記入しないこと。
(注2) パソコン入力可。